

2017 年 5 月 3 日

組合員様へご報告

「八重田店移転新築計画始動」

組合員サービス課
澁谷 賢 司

2017 年 4 月 11 日（火）、仮称「八重田ショッピングセンター」建設地での地鎮祭が執り行われました。この場所へ、八重田店が移転新築される運びとなります。以前は、月極駐車場でありましたが、現在は更地になっており、建設へ向けた準備が着々と進められております！



現在の八重田店



現在の八重田店から建設地の眺め



建設地から八重田店の眺め



神事の様子

どのような店舗になるのかとても、楽しみです!!
建設の無事を祈って神事が行われました。



神事の様子



保健所跡地に複合施設

県民生協＋老人ホーム

青森・造道 年内開業目指す

青森市造道の東地方保健所跡地に、県民生協八重田店が移転新築し、店舗2階に住宅型有料老人ホームが設けられることが20日、分かった。ナカノエンタープライズ（青森市・中野陽介代表）が大規模小売店舗立地法に基づき、「仮称・八重田ショッピングセンター」の新設を県に届け出た。敷地内の別棟には、ドラッグストアなどが出店する予定で、いずれも年内の開業を目指す。

同社によると、生協と老人ホームの複合施設棟は延べ床面積2492・85平方



メートルで、ドラッグストアなどの棟は同1450平方メートル、店舗面積は合わせて239

6平方メートル。駐車場収容台数は89台分を確保する。

住宅型有料老人ホームは、中野氏が代表を務める介護事業者グランアムールが運営する。全て個室で、定員は19人。介護認定を受けた高齢者が対象だという。

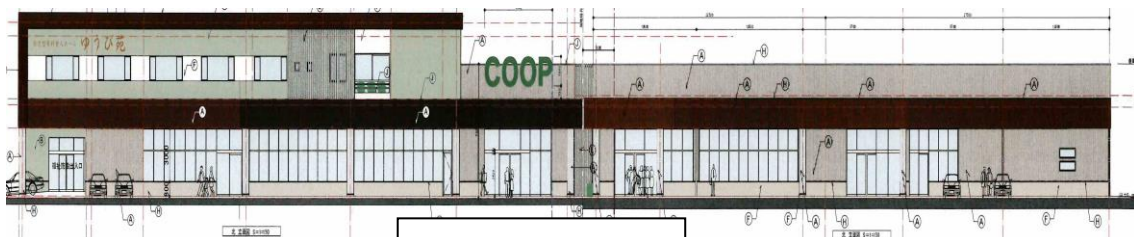
ドラッグストア棟には丸大サクラ牛薬局（同市・櫻井清社長）が運営する「ハッピードラッグ」などが出店する。県民生協によると、店舗部分の営業は午前9時からで、閉店時間は未定。

中野代表は「これからは街づくりを考えた介護事業を展開することが必要。病院が近く、高齢者でも気軽に買い物できるように計画した」と話した。

（山本光）

東奥日報に掲載されました！

特に、街づくりを考えた介護事業と連携した店舗作りを行っている点が注目されています。将来的にも高齢者も気軽に買物できるような店舗作りが地域で求められており、県民生協もそのような地域ニーズに応えて参ります!!



店舗完成予想図